



就任のご挨拶

初めまして。
2009年4月1日に初めての関西、宝塚栄光園で、新米施設長として浜松から単身赴任して5年間過ごしてまいりましたが、この度、人事異動により、この4月1日より花屋敷栄光園に園長として赴任することとなりました「ひだこうじ」です。

出身地は、愛知県豊川市で、現在の自宅は浜松市です。家族は、妻、長女(大3一人暮らし)、長男(洋菓子専門1)、次男(会社員)、三男(高3)の6人家族です。この5年間自宅を支えてくれた妻には、ただただ感謝の思いで一杯です。

就任のご挨拶をさせていただくにあたり、私の好きな本、マツダ ミヒロ著「心のエンジンに火をつける魔法の質問」の中にある一節を紹介いたします。

「大変な時だからこそ、笑顔を作り、余裕を持って、楽しみを見出す。そうしてはじめて、ほんとうの力を発揮できる。つらいときに自分に備わる「根っこ」を引き出すカギがじつはここににあるのかもしれない。」(出典「心のエンジンに火をつける魔法の質問」P58)

私は、笑顔が最良のケアサービスを生み出すと思っています。笑顔を意識すれば乱暴な言葉遣いやケアはなくなると思います。宝塚地区は、新たな3施設の開設によりどの施設も大変な状況下にあると思いますが、そんな時だからこそ、ともに笑顔を作る意識を持ち合いたしましょう。この一文はこんな言葉で締めくくられています。

「あなたはどうぞすれば、つらいときにも楽しめませんか？」
至らないことも多々あるかと思いますが、いつも笑顔で、前向きに取り組んでいく所存ですので、どうぞ皆様よろしくお願いたします。



新園長 飛田 耕志

このページのエンジンに火をつける魔法の質問 マツダ ミヒロ

QUESTION

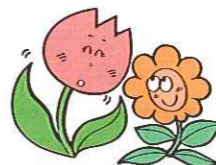
発行/社会福祉法人聖隷福祉事業団 花屋敷せいの里
〒665-0808 兵庫県宝塚市切畑字長尾山5-321 TEL.072-740-3388 / FAX.072-740-3980

入居者・利用者の方々の作品

国後の水際が見えて 総も立ち
今更ながらに我が身恥入る
(納沙布岬にて)
佐藤 典子



春来たり 腰曲りの身 心穏き
花芽をふけて 庭に出るなり
小坂 恭子



朝なごな コーヒーの香のたつ刻に
春のサウンド 鶯の鳴く
三田 静子

吾が生れし 児等無き里の 宇佐五橋
魂みな集え 村は祭りぞ
大原 悦子



「博愛」と名を賜りし 春の使者
江見 絹代



早春や 天の空気に キスをす
上野 節子



ボランティア感謝会!!

3月6日(木)に花屋敷せいの里で活動されているボランティアの方々に日頃の感謝の気持ちを込めて、ボランティア感謝会を開催しました。♪

引き続きお話し相手・見守り・レクリエーション等のボランティアをしていただける方を募集しています。興味のある方は、お気軽にご連絡下さい。



ボランティア ありがとうございます

●ボランティア記録より 平成26年1月～3月●
※順不同・敬称略

〈個人〉

河田強、栄清美、浦千代子、西田隆男、森谷恭子
田方紀一、松下茂、大谷友司、横田由利子
中田容子、塚本美佐子、倉科節子

〈団体〉

コーラスりんどう、楽団ひばり、かなりあ会
さんしーず、T.O.M(尺八&ピアノ)
朗読の会ほのぼの、ありのままグループ
コミュニティひばり、おしゃれクラブ
喫茶ひばり、ラベンダー、きんもくせい

編集後記

春、桜が咲くこの時期、とても暖かく気候が良いですね。4月は、新しい事が始まる季節です。聖隷も「宝塚すみれ栄光園」および「ケアハウス宝塚」が開園しました。新たな、出会い、つながりが広がってワクワクする感じがします。私も、心機一転、すべての事に一生懸命励んでいきたいと思っています。みなさんの新しい歩みが上手くいくように願っています。
T.N



※写真掲載に関しましてご本人・ご家族のご承諾を得ています。

次号は平成26年8月発行予定です。

新入職員紹介 どうぞよろしくお願い致します。

所属	介護1丁目2番地	介護1丁目3番地	介護2丁目2番地	介護1丁目2番地	介護1丁目5番地
氏名	かくま 理恵 角間 理恵	なかやま こうすけ 中山 航介	たかの まさたか 高野 雅貴	ひらい かなえ 平井 香奈恵	まえだ みか 前田 美佳
趣味・特技	旅行	スポーツ観戦・バスケット	バスケット・旅行	卓球・お菓子作り	カラオケ・体を動かす
写真					
所属	介護1丁目5番地	介護2丁目1番地	介護3丁目2番地	介護5丁目1番地	介護5丁目2番地
氏名	ますだ なおみ 増田 直美	きやむら たいじ 木屋村 泰司	たつみ かつき 巽 郁月	ありむら ともひろ 有村 知大	すずき ようへい 鈴木 洋平
趣味・特技	マラソン・菓子作り	音楽鑑賞・楽器演奏	音楽LIVE・体を動かす	暗算・野球観戦	甘味・スポーツ観戦
写真					

デイ季節レク デイサービスでは色々季節を感じる レクリエーションを企画しています。

陶芸でおひな様作り。
折り紙で素敵な壁飾り作り。
押し紙で季節を感じるカレンダーの出来上がり。
お花レクもおひな様を意識して作りました。



職員直撃インタビュー!!



ケアサービス課
課長補佐 中田博仁

「サービスを利用するすべての人の為に、
マネジメントしていきたい」

あなたの原点は？

幼少の頃より、私の両親は、共働きであった為、学校から帰宅すると、常に祖父母がいて、私の面倒を見てくれていました。近所のおじいちゃん、おばあちゃんにもお世話になることが多く高齢者と関わる事は、常に自然な事でした。

また、高校2年生の時、阪神淡路大震災に被災しました。無力な私たちに対し、ボランティア、自衛隊の方たちは、とても優しく、そして、生きる勇気をくれました。「いつか自分も人の役に立てる仕事したい」と思うようになり、福祉の世界に入るきっかけとなりました。

印象に残るエピソードは？

私は、淡路島の淡路栄光園に15年前にオープニングスタッフとして就職しました。

新卒である私にとっては、全てが初めての事ばかりで、毎日が新鮮でした。当時は、「人を機械で持ち上げたりするのは非常識」と言及する有識者もいた時代でした。

そんな中、淡路栄光園では、人の温もりを感じて頂く為、重度の入居者を、スタッフ2、3人がかりで、人の手だけで、普通の浴槽に入ってもらっていました。入居者からは「機械でなく、人の手で入れてもらった方があなたかくて気持ち良い」と言って頂いた記憶があります。如何に自然なケアが出来るか工夫と追及をしていた日々が懐かしく思います。

力を入れた事は？

後継者の育成でしょうか。スタッフ一人ひとりがステップアップ出来て、やりがいの感じる仕事ができるように、施設内研修と職場単位で育成のできる職員教育体制を構築していきたいと思えます。また、2014年度から、法人全体の取り組みとして介護スタッフ対象に介護テクニカルリーダー（能力評価ツール）が始まります。うまく活用させ人材育成に繋がっていきたくと思えます。

大切にしている事は？

目標やビジョンを持つことです。
何事をするにしてもドラダラと行ったり、闇雲に突き進んだりするだけでは、うまくいきません。ドライブでいうと、目的地のようなもの。行先がないと出発すらできません。そのような状態でドライブをすると、無駄に終わってしまいます。
常に目標を持ち、自己実現の為に邁進していきたいと思っています。